



フィリシラタマミズキ

[斑入り白玉水木]

落葉 / 低木 / 木本植物 / 園芸品種



科名 ミズキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

サンゴミズキの斑入り品種。白い覆輪の入る葉、冬に宝石珊瑚のように真っ赤に色づく枝に魅力がある。花の少ない冬の庭を彩る貴重な存在。花材にも利用される。寒さに強く、枝がよく発色するが、暖地では色付きしにくい。秋につける白い実と紅葉など四季折々に楽しめる。



Memo

新品種にサンゴミズキ'シルバー&ゴールド'がある。美しい白斑の葉をつけ、枝が黄色くなる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実										■			
紅葉・黄葉												■	
施 肥		■											
剪 定		■						■					■

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾		○	○	湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強		○		弱
潮 風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○		○	○	

ポイント

新緑、初夏に咲く花、白い実、紅葉、冬の枝の色など四季を通じて楽しめる。一番の特徴は宝石珊瑚のように色づく枝。花材にされるほど美しい。寒さに強いが乾燥は苦手。半日陰地に植えるとよい。

剪 定

生長が比較的速いので、花が終わったら剪定して樹形を整える。古くなった枝は、落葉期に根際から切除して新しい枝と入れ替える。新たな枝が生長し綺麗に色づく。発色は寒冷地ほど鮮やかになる。

病虫害

風通しが悪いとカイガラムシやアブラムシが発生する。また、テッポウムシ（カミキリムシの幼虫）が幹に穴をあけることがある。